

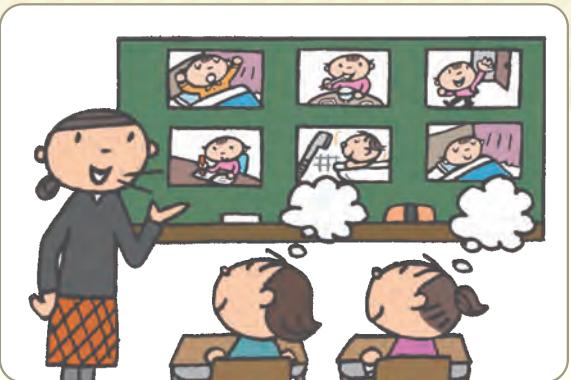
4 技能5領域の育成



聞くこと

聞く活動は、英語の授業のほぼ全体に関わります。クラスルームイングリッシュに始まり、新しい語句や表現のインプット、演習、先生や友だちとのコミュニケーション活動など終始英語を耳に入れます。しかしながら、ただ単に大量の英語を聞くだけでは、英語の音に慣れるることはできるかもしれません、「聞いて理解する力」は育成されません。場面やイラスト、ジェスチャーなどの手がかりをもとに、内容を推測、理解しながら聞くことが、「聞いて理解する力」の育成につながります。

本教科書では、児童が英語の意味を推測、理解しながら聞く活動ができ、演習を経て「聞いて理解する力」をきちんと身につけられる構成にしています。



読むこと

活字体を読む活動は、Let's Read and Write で1文字1文字丁寧に取り上げています。特に5年生では、「活字体の大文字・小文字の識別」、「活字体の名前読み」ができるよう、動画と音声で指導します。また、「音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味がわかるようにする」ため、音声とともに文字が児童の目に入るよう、Listen and Play や Chant などでは新出語句や表現を明示しています。毎回音声とともに文字を目にしてすることで、どの文字がどういう読み方をするのかに気づき、自然と文字を読む力を養います。これにより、6年生各 Unit 末の Activity にある、書く活動の例文も負担なく読めるようにしていきます。そのほか、REVIEW の CHALLENGE では「必要な情報を得る活動」ができるようになっています。



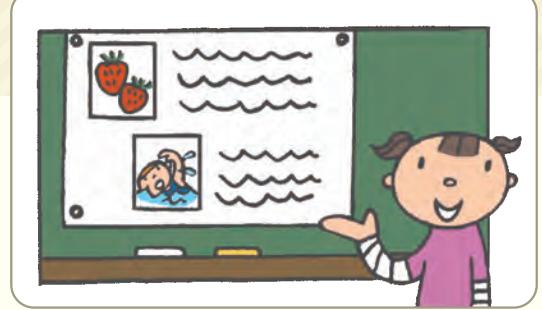
話すこと（やりとり）

話す（やりとり）活動は、主に Activity で行います。ある程度型が決まったやりとりを行い、即興的なやりとりの中でも使用できるよう練習します。また、扉のページのイラストや写真を使って Small Talk を行い、既習の表現を使った即興的なやりとりができる力を養います。



話すこと（発表）

話す（発表）活動は Unit 最後の Activity で行います。各 Part で語句や表現を「耳に慣らす→聞き取る→発話する」活動を十分行い、積み上げてきたうえで、集大成として発表活動を行う流れにしています。



書くこと

5年生では、活字体を書く活動を Let's Read and Write で1文字1文字丁寧に取り上げています。1年間を通して活字体を識別して書けるようにした後、6年生では語句や文章を書き写す活動を行います。6年生の教科書には、各 Part 末に、聞いたり話したりして慣れ親しんだ表現を用いて、自分が言いたいことを選択して書くという活動があります。そして各 Part で書いたことを積み上げて、Unit 末の発表活動につなげ、最後に自分が発表したことを文字で残せるようにしています。そうすることで、達成感を得ながら書く力を養います。

